



平成13年度指定 高指第98号

中村 喜久雄

【雅号】 大誓・秀水 だいせん・しゅうすい

生年／昭和19年 指定技術名／銅器・ガス型



ちゅうきんふうけい「まなつのげんえい」

鑄金風景 「真夏の幻映」

斬新かつ繊細な作風で、彫刻的造形美を追求する鑄金作家であり、焼型、ガス型などの鑄造法を熟知した技術者である。作者の創造性の高い感覚と類稀な造形力により、水平線に浮かぶ峰の雲（入道雲）と対岸の景色に、蜃気楼のイメージを重ねた叙情性にあふれたオブジェである。表面仕上げには、銀箔とプラチナ箔を用いて重厚な趣をたたえながら、鑄バリの造形に活かす斬新さで独特の躍動感が漂う作品である。

平成19年作

素材・技法／ブロンズ、銀箔、プラチナ箔・ガス型鑄造
寸法／高さ47cm×幅72cm×奥行10cm

〔表彰・受賞歴〕

昭和51年	高岡市展市長賞
昭和52年	富山県展大賞
昭和53年	県展選抜展文部大臣賞
	富山県教育功労賞
昭和55年	日本現代工芸展会員賞
平成23年	高岡市民功労者表彰
	高岡市美術館芸術選奨
平成27年	第8回佐野ルネッサンス鑄金展大賞
	第18回日本伝統工芸士会作品展 衆議院議長賞
令和 4年	瑞宝準光章
令和 6年	第26回日本伝統工芸士会作品展 経済産業大臣賞

〔経歴〕

昭和35年	家業焼型鑄造に入り技術全般を習得
昭和47年	第4回日展に出品（～平成15年）
昭和48年	日本現代工芸展に出品（～平成15年）
昭和56年	先代外次郎死去により家業を継ぐ
平成 2年	焼型鑄造と合わせてガス型鑄造でも作品を発表する。その間、市展、市民展、県展、現代工芸美術展、勤労者、女性、青少年美術展の審査員、また高岡自然休養村、県庁、出雲大社大阪分祠、愛知医科大学、高岡短期大学（当時）、高山短期大学、高岡市美術館、国際柔道連盟等に作品制作
平成14年	高岡市伝統工芸産業技術保持者指定
平成16年	伝統工芸高岡銅器振興協同組合後継者育成講習会（鑄造）講師
平成17年	北日本新聞社マンスリーアート「鑄金造形に魅せられて展」開催
平成18年	高岡市美術作家連盟委員長
平成25年	伝統工芸士認定
平成29年	高岡巧美会会長
平成30年	高岡地域文化財等修理協会会長